

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 6 日

新潟県知事 殿
市長

提出者

住所 新潟県新潟市西区小針3丁目27番11号
新潟県厚生連 新潟医療センター
氏名 病院長 吉澤 弘久(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 025-232-0111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新潟県厚生連 新潟医療センター
事業場の所在地	新潟県新潟市西区小針3丁目27番11号
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	一般病床292床 療養病床107床 介護医療院(こほり園)100床
③ 従業員数	581人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物処理業者に委託(焼却後、埋め立て)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃						
	排出量	318.35 t	0.80 t	0.48 t						
	特別管理産業廃棄物の種類									
	排出量									
	(これまでに実施した取組)									
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃						
	排出量	300.00 t	1.00 t	0.50 t						
	特別管理産業廃棄物の種類									
	排出量									
	(今後実施する予定の計画)									
	適正な分別の徹底（非感染性廃棄物や再生可能廃棄物を混合しない）									

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物は、ひと目で分かるバイオハザードマーク付きの容器に廃棄し、専用の保管場所に保管している
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) さらなる適正な分別の徹底（非感染性廃棄物や再生可能廃棄物を混合しない）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の埋立処分量	t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の埋立処分量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									

【目標】									
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分量	t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の種類									
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい廃油	産廃					
	全処理委託量	313.35 t	0.80 t	0.48 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の種類									
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									

【目標】										
① 計画	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄物	燃えやすい 廃油	産廃						
	全処理委託量	300.00 t	1.00 t	0.50 t						
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	再生利用業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	特別管理産業 廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者 への処理委託量									
	再生利用業者 への処理委託量									
認定熱回収業者 への処理委託量										
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
【前年度（4年度）実績】										
特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)					319.628 t					
(今後実施する予定の取組等)										
電子対応マニフェスト対応業者との契約										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理にかかる管理体制

廃棄物管理責任者	病院長
廃棄物保管管理者	総務課長
感染管理委員会	委員長（副院長・ICD）、副委員長（消化器内科部長、感染専従看護師） 委員（病院長・事務長・総務課長・医事課長・医事主任 看護部長・副看護部長・各部署看護師長・訪問看護ST責任者 放射線科技師長・薬剤部長・検査科技師長・リハビリ科技師長 栄養科長・臨床工学技士長・歯科衛生士・総務課員）

役割	廃棄物管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物管理規定・計画の決定、承認、改廃 ・廃棄物処理に関する各種事項、委託契約の決定、承認、改廃
	廃棄物保管管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物管理規定・計画の作成 ・廃棄物処理に関する委託契約の締結、管理 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・廃棄物処理の状況把握、改善策の検討 ・職員、委託業者に対する教育、啓発 ・その他、関係する事項
	感染管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理に関する事項の検討 （廃棄物の削減、適正処理、管理運営方針等、廃棄物処理に関する事項を、感染対策、医療安全の見地を交え、検討する。）

廃棄物処理に関する管理フロー



